



当院の理念

医療の公共性を重んじ、

信頼される医療を通じて地域社会に貢献します。

Policy

医療法人財団 華林会

村上華林堂病院のご案内

Murakami Karindoh Hospital
Hospital Guide

2024



理事長からの ご挨拶



医療法人財団 華林会
理事長

菊池 仁志

医も亦自然に従う

華林堂の名称は大分県中津藩医第6代目村上玄秀の号に依るもので
す。そして『医も亦自然に従う』は、初代宗伯から日本の近代医学の
先駆けとして活躍し、前野良沢らと共に我が国においての解剖を初めて
行った第7代玄水へと引き継がれている精神です。

その末裔の一人である私にもこの医家精神を大切にしていく使命があ
ると思います。医療技術は、時代とともに進んでいきますが、人間の本
質は変わりません。「医療の本質とは何か」と考えたときにそれは「病
気を治す」ことはもとより、「病む人を癒す」ことが、なにより大切なこ
とであると思います。そしてそのためには、医療を提供する側と受ける
側ともに協力し合いながら、自然の流れに逆らうことなく身を任せ、病
む人を癒す気持ちを持つことで、最良の医療を提供できるのではないかと
考えます。

当院は、福岡市西区の地域に密着した中核病院として、地域の皆様の
ために心のこもった医療を提供していくために、スタッフ一同協力し合
いながら、日々努力を重ねていきたいと思います。

Executive Message

地域の方々と共に歩む病院

2023年4月1日より村上華林堂病院の第4代院長に就任しました。
当院は1982年に開院し、41年目に入りました。当院の理念にあります
ように、これまで良質な医療の提供を通じて地域社会に貢献してきま
たし、今後も変わることはありません。

2015年に国連サミットで持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs）が採択され、日本も国をあげて取り組んでいます。SDGsは誰一人取り残さないということが基本であり、私共は地域の皆さんのが健康に生活できるように医療を提供します。

福岡市内には大学病院が2つ、高度な急性期医療を提供できる総合
病院もいくつかあり、医療環境には恵まれています。その中で当院は、
軽症の急性期診療および在宅生活につなぐ亜急性期～慢性期の診療を
担い、地域包括ケアシステムが機能するように務めます。そのためにも
他の医療機関・施設との連携をさらに強化していきます。

当院は内科、眼科、整形外科の診療を行っていますが、内科は総合診
療科として身体全体を診て、必要に応じて各専門領域の内科医が担当いた
します。特色としては、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神
経難病診療、通院が困難な方への在宅診療、癌末期の終末期に対処する
緩和ケア、充実したリハビリテーションの提供体制があります。たとえ病
気を治すことができなくても、癒しが得られるように寄り添ってまいります。

院長からの ご挨拶



医療法人財団 華林会
村上華林堂病院
院長

山田 猛

今年度の取り組み Our Efforts

緩和ケア棟屋上庭園リニューアル

緩和ケア棟が開棟されて 20 年。屋上から見える風景は随分変化しました。

緩和ケア棟の外壁工事に合わせて屋上庭園も一新し、色とりどりの花や木々、ベンチやテントが備え付き憩いの場が戻ってきました。また、歩行路、階段昇降やステップ練習を行えるリハビリテーション環境も整備されました。

季節が良い時期には青空の下で患者様、ご家族と一緒にお散歩したりイベントを催したり気持ちよく過ごすことが出来そうです。



透析用監視装置を更新しました

腎不全患者等を治療する目的で、血液透析や血液透析濾過などを行う場合に用いる装置です。従来の装置に比べ、モニタリング機能が進化し、治療中の体外循環血流量やヘマトクリット値の変化、透析量などが確認できるようになり、より安全・確実な透析を行えるようになりました。



村上華林堂病院

公式キャラクター

かりんくん



公式キャラクター「かりんくん」が誕生しました！

村上華林堂病院では、このたび公式キャラクター「かりんくん」が誕生しました。「かりんくん」は、病院名である「華林堂」と病院敷地に実る「花梨の実」をモチーフとしたキャラクターです。

キャラクターが長きに渡って皆さんに愛されることを期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

診療体制 Medical Care System

複数の疾患と複雑な背景を抱えた高齢者を地域内で総合的に支えるには、総合診療部門と専門診療部門がバランス良く連携、協力する診療体制が重要です。当院では、従来の並列的な診療部構成ではなく、総合診療部門が中心にあり、領域別専門診療各科と相互に連携・補完する診療部体制を目指しています。この体制では、より専門性の高い診療は領域別の専門医が主に行います。それほど高い専門性を求められない診療や複数の疾病を総合的にバランスよく管理する必要がある患者さん、在宅医療、緩和ケア（エンド・オブ・ライフケア）などは主に総合診療部門が担当し、専門診療部門と総合診療部門は柔軟に補完・連携してゆきます。

総合診療を中心に領域別専門診療と相互に連携・補完

脳神経内科

当院では神経変性疾患を中心とした神経難病患者の在宅療養を支えるために、多専門職種によるチーム医療を通して、プライマリケアやレスパイト入院（患者さんの全身状態の評価やご家族の介護負担軽減のための一時的入院）や終末期の緩和医療にまで幅広い診療に取り組んでおります。



緩和ケア内科

私たちは緩和ケアについて「その人がその人らしい生を全うすることができるよう支援すること」と考えています。

緩和ケアを提供する形態には、緩和ケア入院、緩和ケア外来、及びご自宅での生活をサポートする訪問診療や訪問看護、訪問介護などのサービスがあり専門チームが連携して行っています。入院中は、痛みやだるさなどの不快な症状を取り除くだけでなく、精神的な苦痛を軽減し、患者さんやご家族が可能な限り穏やかな時間を過ごせるよう努めています。



地域医療 Community care

地域連携

当院の最も重要な役割は、高度先進医療機関や近隣の診療所、介護・福祉施設と連携し、地域の高齢者が生活圏内で暮らし続けていくことを入院設備のある病院として支援することです（地域包括ケアシステムを支える病院）。

地域の先生方、患者さんがご利用しやすいよう、地域の医療機関・福祉施設と密接な連携を図っています。



在宅医療

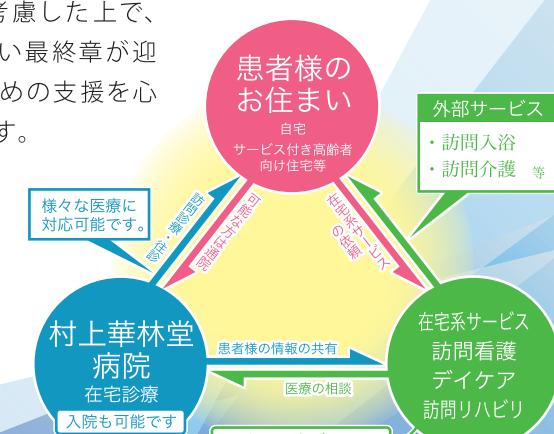
当院の在宅診療部では、外来通院が難しくなった方を対象に、在宅（自宅および施設）での診察に力を注いでいます。計画的な定期訪問診療を中心に、24時間体制での電話相談および必要時の臨時往診を行っています。詳細な内容については気軽にお問い合わせください。



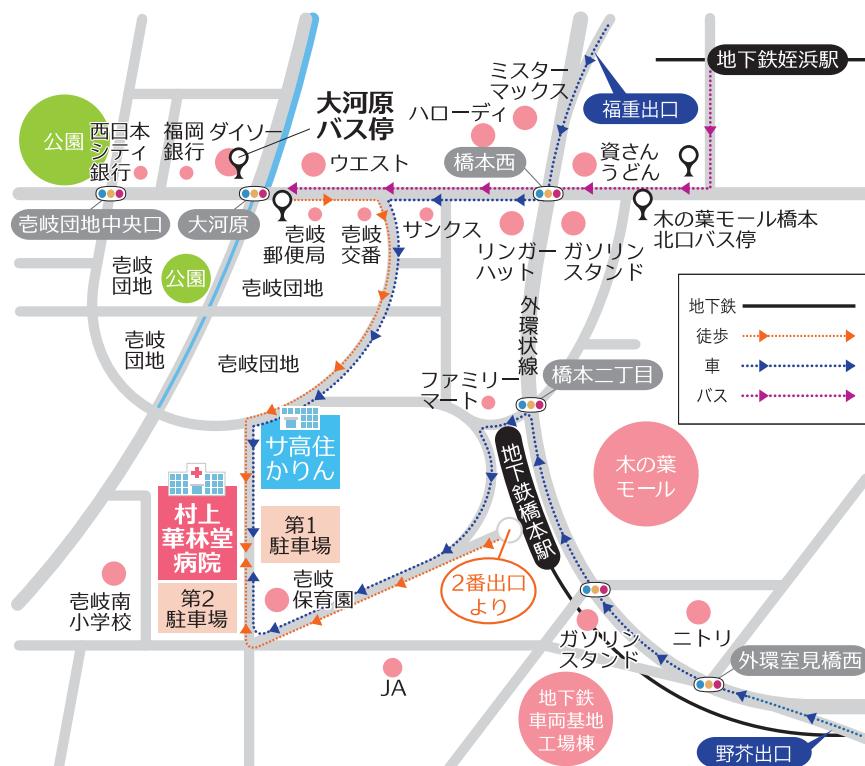
眼科

手術は硝子体手術、白内障手術、緑内障インプラント手術、外眼部の手術（眼瞼下垂、睫毛内反）結膜弛緩症と多種多様な治療に対応しております。

糖尿病内科との混合病棟、更に血液浄化療法センターとの協力により、糖尿病の総合的な治療を行うことが可能で、より細やかなケアが出来るのが当院の強みです。



交通アクセス Access



福岡都市高速をご利用の場合

天神方面(内回り)から : 福重出口から約10分
野多目方面(外回り)から : 野芥出口から約10分

福岡市地下鉄をご利用の場合

空港線姪浜駅よりタクシー約15分
空港線姪浜駅より西鉄バス約20分「大河原」下車 徒歩約8分
七隈線橋本駅より徒歩約7分

西鉄バスをご利用の場合

「大河原」下車 徒歩約8分

無料病院巡回バスをご利用の場合 ※日祝日は運行いたしておりません

- 1号車 病院 ▶ 大河原バス停 ▶ 壱岐農協 ▶ 姪浜駅北口 ▶ 都橋 ▶ 病院
- 2号車 病院 ▶ 壱岐公民館前 ▶ 生松台 ▶ 野方台 ▶ 藤ヶ丘団地 ▶ 羽根戸 ▶ 吉武 ▶ 病院
- 3号車 病院 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 美室団地口 ▶ 室住団地 ▶ 地下鉄橋本駅2番出口前 ▶ 病院
- 6号車 病院 ▶ サ高住かりん ▶ 大河原バス停 ▶ 上山門 ▶ 下山門駅 ▶ 下山門農協 ▶ サ高住かりん ▶ 病院

当院の巡回バスを無料でご利用いただけます



日本医療機能評価機構認定病院・救急告示(内科)・開放型病院

代表 TEL : 092-811-3331

〒819-8585 福岡市西区戸切2-14-45 FAX 092-812-2161

URL <https://www.karindoh.or.jp> E-mail info@karindoh.or.jp



受付時間 / 月～金 午前 8:30～11:30 午後 1:00～4:00 土曜日 午前 8:30～11:30 ※土曜日は午前のみ

診療科目 / 総合診療科 内科 老年内科 循環器内科 血液・腫瘍内科 脳神経内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 人工透析内科 消化器・肝臓内科 呼吸器内科 緩和ケア内科 眼科 整形外科 リハビリテーション科

関連部門 / 訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所「かりん」 訪問看護ステーション「かりん」
通所リハビリテーション サービス付き高齢者向け住宅「かりん」

病院公式の Instagram LINE

病院からのお知らせやイベント情報などを、発信しています。

